

かいきげしよく

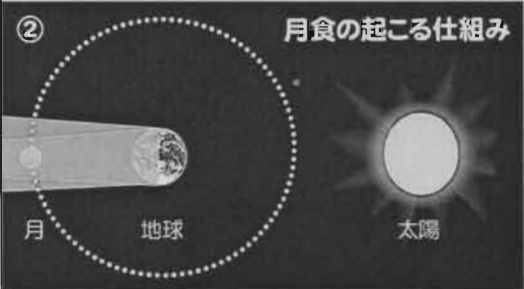
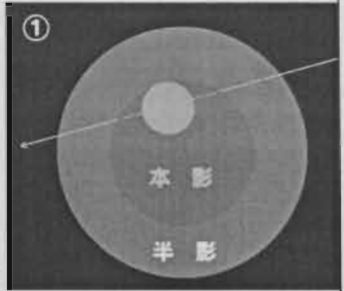
皆既月食を見よう！ 5月26日(水) 部分食始まり 18:44 部分食終わり 21:52

今回の皆既月食は夕方から宵にかけて見られる現象です。皆既時間 20:09～20:28

月の出直後から月食が始まり、皆既中の満月の高さは約15°前後(←低い!)。

月食前日までに、南東が開けた見やすい場所を探しましょう。↑地平線から握りこぶし1個半

皆既時間が短いのは、月が地球の影の縁を通り抜けるためです(図①参照)。



月食の起こる仕組み

図②は北極側から見おろした図です。太陽、地球、月が一直線上の位置になった時、すなわち、地球から見て、月が正面から太陽の光を受ける満月の時、月食が起こります。満月のたびに月食が起こらないのは、白道と黄道が約5°傾いているため↑上記は別の機会に解説

月食、ここに注目！ 1.月食中の月の欠け方 2.皆既前中後の満月の色

図③-1は10日月、図③-2は月食中の満月です。地球の影に月が入り、宇宙空間では、図④の状態です。欠け際が

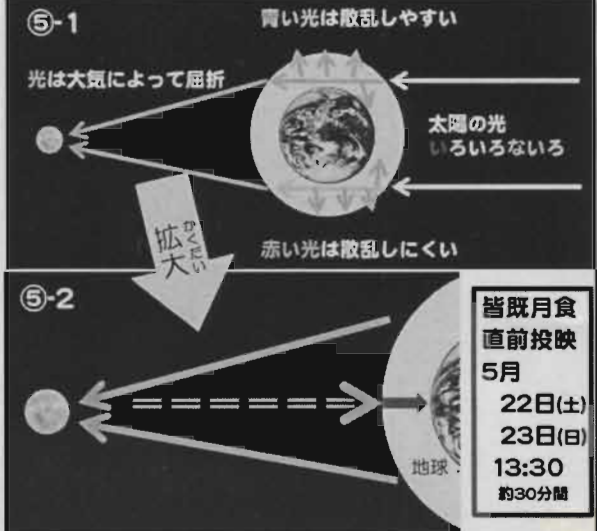
ぼやけ、欠け方も通常の月のみち欠けとは異

なります。また、完全に地球の影の中に入った月(皆既中、その前後も)は、月面が赤っぽくなります。その原理は図⑤-1に示す通りですが、さらに赤い

光が月面で反射し、もう1回大気(空気)を通り抜け、私たちの目に届きます(図⑤-2)。大気中に塵などが多い場合は、赤黒く、少ない場合は鮮やかな赤に見えます。今回は地平線近くで皆既月食が起こります。どんな色になるのか、観察してください。

しかもこの日は、今年、2021年で地球と月の距離が一番近い満月の日(世間で言われている「スーパームーン」)。月の軌道は楕円であるため、遠い時と近い時があります。地球に最も近い位置の満月は、遠い位置の満月よりも面積で約30%も大きいのです。

提供：図④ ステラドームプロ/「直前投映」やロイ君アワーで見ることができます



皆既月食直前投映
5月
22日(土)
23日(日)
13:30
約30分間

提供：図③-1 平野 岳史 図③-2 柿沼 史規

火星探査機 パーサビアランス始動 + インサイト (2)

この記事は来月に持ち越します

今月の見どころの重星連星天体

かに座イオタ(かに座ι星)

黄色の4.0等星と青色がかった6.6等星の二重星。

ミザール(おおぐま座)

肉眼二重星のアルコルで、目の検査もしましょう。

アルギエバ(しし座γ星)

オレンジ色2.6等星と黄色の3.8等星の二重星。

連星系

しろいメール配信サービスに登録しましょう

右のQRコードで登録してください。イベントの前にメールが届きます。

◎文化センターイベント情報

◎コンサート情報 ◎イベント講座情報



野口さん、お帰りなさい！ 5月2日帰還

帰還後の記者会見(5月7日)で「宇宙船が海面に着水したとき『水の惑星』に戻ってきたことを強く感じました」とお話しされました。



写真提供 NASA/JAXA

現在、国際宇宙ステーションには星出さんが船長として搭乗しています。

—キエフ編/ローアプロ/5/10/15/20/25/30/35/40/45/50/55/60/65/70/75/80/85/90/95/100

①おぶ>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿